



### 今年は1700本！ 九会の夢ツリーが帰ってきた

九会地区ふるさと創造会議が、コロナ禍に少しでも地域の人に楽しんでもらおうと昨年に引き続いて企画。多くのボランティアの方々と一緒に、地域で集めたペットボトル約1700本を使って巨大ツリー＆新作イルミネーション「滝と虹」を鶯野飛行場跡に完成させました。



### 根日女物語ゆかりの地を巡る 加西市・三木市連携ハイク

加西市・加西市観光協会・三木市・神戸電鉄は、1300年前に編纂された「播磨国風土記」に記述されている根日女物語ゆかりの地を巡るハイキングを開催しています。3年目となる今年は、10月に加西市の玉丘古墳を巡るコースを、11月には三木市の志染の石室を巡るコースを歩きました。150名以上の方が両市の歴史の結び付きを感じながらハイキングを楽しみました。両市はこの他にも、子どもたちが演じる能・狂言においても連携事業を進めています。



玉丘古墳前のチェックポイント

### 境内を赤く彩る 五百羅漢紅葉ライトアップ

11月20、21日の2日間にわたって五百羅漢紅葉ライトアップが開催されました。訪れた人々は、ライトアップされた紅葉とろうそくに浮かび上がる石仏の幻想的な世界を楽しみました。また、市内の活動団体によるミニコンサートも行われ、心温まるひと時を過ごしました。五百羅漢保存委員会の井上芳正会長は「今年もたくさんの人に来てもらえた。来年も開催できるように保存会一同頑張ります」と話しました。



### 人権フィールドワーク たつの市の工場見学で皮革産業を学ぶ

皮革産業の歴史と文化を学ぶため、10月18日にたつの市の皮革工場（㈱キタヤ）などを訪問する人権フィールドワークを行いました。参加者10人は、皮革工場を経営されている吉田健男さんの説明で工場見学をした後、レザー専門店「革の森」でポーチの製作体験をしました。参加者からは「革を作る大変さがよく分かった。自分だけのオリジナルポーチも作れて良かった」との声があり、皮革産業と人権について学ぶ機会となりました。



### ももこの11が俘虜収容所の写真展開催 大阪・神戸ドイツ総領事が来訪

ももこの11（富合地区ふるさと創造会議）と青野原俘虜収容所跡保存会が俘虜収容所の写真展を開催し、マルティン・エバーツ大阪・神戸ドイツ連邦共和国総領事夫妻が来訪されました。通訳を通して、サッカーやテニス、演劇などを楽しんでいる写真の鑑賞、現存する将校用風呂などを見学されました。案内した同会議の仲井正人会長は「この青野原の地で、100年余り前の大正時代から国際交流がありました」と話されました。



### 北条高校ときずなカフェが交流 放置柿でスイーツを商品化へ

北条高校人間創造コースのECOチャレンジ班6名が、認知症カフェ「きずなカフェ」と協力し、放置柿を使ったスイーツの商品化に向けて、柿ようかんとムース作りに取り組みました。これはフードロス減らし柿の需要を発掘する目的と、認知症普及啓発を兼ねて実施しました。西村春瑠さんは「知らないことも多く、色々アドバイスをもらいながら作った。一緒にできて楽しかったです」と笑顔で話しました。



### ひょうご五国の民俗芸能 北条節句祭龍王舞の映像や実演を披露

兵庫県立芸術文化センターにて兵庫県主催の「ひょうごの民俗芸能祭～五国のまつりと城めぐり～」が行われました。播磨地区代表として住吉神社龍王舞保存会が招待され、節句祭りで東郷の舞を受け持つ栗田地区が出演。映像で北条の町や節句祭りの様子が流れた後、栗田区の3名が登壇し、舞方である猿田彦の面をかぶり、鉦を持ち、掛け声や舞の所作の説明をされました。



### オンラインを活用した職業体験 加西特別支援学校で実施

11月2日、加西特別支援学校で生徒7名が「キッズアニメーションスタジオ」を活用した職業体験ワークショップをオンライン形式で行いました。専用の映像制作アプリを使って「映像クリエイター」の体験をした大作哲平さんは、「つくるのが大変だったけど楽しかった。またやってみたいです」と楽しげに話しました。

